2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社エアークローゼット　　上場取引所　東
コード番号　　9557　　ＵＲＬ　https://corp.air-closet.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長兼ＣＥＯ　　（氏名）天沼　聰
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　社長室長　　（氏名）森本　奈央人　　ＴＥＬ　03-6452-8654

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	1,216	0.4	△4	－	△10	－	△11	－
2026年６月期第１四半期	1,211	5.8	△82	－	△84	－	△78	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	△1.33	-
2026年６月期第１四半期	△9.47	-

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	2,535	294	11.2
2026年６月期	2,626	305	11.2

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　284百万円　2026年６月期　295百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2027年６月期	-				
2027年６月期（予想）		0.00	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,690	9.9	51	-	27	-	27	-	3.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：無
④　修正再表示　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	8,284,200株	2026年６月期	8,284,200株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	-株	2026年６月期	-株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	8,284,200株	2026年６月期１Ｑ	8,282,591株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年11月13日（金）に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。パーソナルスタイリングの要素を強みとした主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却対応やメンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

当該物流プラットフォームを活用した都度課金型のサービスで、結婚式やイベントで着用するドレスをレンタルできる「airCloset Dress」を2024年11月にスタートしており、2025年10月からは、ドレスのみならず、ブラックフォーマルやアウターなどに対象商品を広げ、「airCloset Spot Rental」として認知拡大に努めています。さらに、循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く事業も推進しており、レンタルサービスにおいて３件受託をしております。今後も継続して企業様向けの取り組みについても推進してまいります。

また、サービス利用対象者の拡大を図るべく、2026年３月より、「airCloset」において当社スタイリストがお洋服を選ぶ従来のパーソナルスタイリングのサービスに加え、お客様が自分で選択する「セルフセレクト」をリリース、2026年５月28日からは男性向けファッションレンタルサービス「airCloset Men’s」を開始いたしました。

上記に加えて、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っており、2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。また、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。当第１四半期累計期間においては、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

このような状況の中、主力であるairClosetサービスにおいては、既存顧客のロイヤルティの高さは変わらず６ヶ月超継続してくださっているロイヤル会員数および継続率は順調に推移していますが、SNS広告偏重であった会員獲得手段の構造改革の効果が出るまでに時間を要していることから、月額会員数が前年同時点比で減少しております。一定成果の出ている領域もあり、引き続き会員獲得数の増加に向け、アライアンス強化やリアルイベントの開催、オウンドメディアの強化といった認知度向上施策および広告効率の改善を図ってまいります。また、airCloset Mall事業においては、店頭で商品を選び、そのまま自宅で試せる「持ち帰りレンタル」を、ビックカメラ様と連携し、2026年３月より「ビックカメラ池袋西口IT tower 店」、2026年８月より「ビックカメラ浦和西口店」にて展開を行っております。取り扱い商品数の増加による成長に加え、こういった取り組みにより、利用者数が増加しています。

これらの結果、当第１四半期累計期間の業績は、売上高1,216,780千円（前年同四半期比0.4%増）、EBITDA（営業利益＋レンタル用資産償却費＋減価償却費＋レンタル用資産売却等に伴う原価振替額）304,380千円（前年同四半期比80.3%増）、営業損失4,058千円（前年同四半期は82,616千円の営業損失）、経常損失10,798千円（前年同四半期は84,618千円の経常損失）、四半期純損失11,029千円（前年同四半期は78,513千円の四半期純損失）となりました。なお、当社は、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期会計期間末における流動資産は1,069,482千円となり、前事業年度末に比べ27,578千円減少しました。これは主に、前事業年度末と比較した月次売上高の減少に伴う売掛金の減少35,370千円によるものであります。固定資産は1,466,328千円となり、前事業年度末に比べ63,491千円減少しました。これは主に、レンタル用資産の減少48,845千円によるものであります。

この結果、総資産は2,535,810千円となり、前事業年度末に比べ91,070千円減少しました。

（負債）

当第１四半期会計期間末における流動負債は1,635,519千円となり、前事業年度末に比べ80,183千円減少しました。これは主に、買掛金が39,134千円増加した一方で、短期借入金の返済により短期借入金が103,997千円及び未払金が31,055千円減少したことによるものであります。固定負債は605,671千円となり、前事業年度末と比べ142千円増加しました。これは、資産除去債務が142千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,241,191千円となり、前事業年度末に比べ80,040千円減少しました。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産は294,619千円となり、前事業年度末に比べ11,029千円減少しました。これは、四半期純損失計上による利益剰余金の減少11,029千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は11.2％となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の業績予想につきましては、2026年８月14日に「2026年６月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年６月30日）	当第１四半期会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	665,320	637,037
売掛金	284,742	249,372
商品	38,750	40,827
貯蔵品	17,227	14,081
前払費用	73,700	98,134
関係会社短期貸付金	10,000	10,000
その他	17,344	28,569
貸倒引当金	△10,025	△8,540
流動資産合計	1,097,060	1,069,482
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	960,189	911,343
建物（純額）	276,005	265,463
機械装置（純額）	71,007	67,309
工具、器具及び備品（純額）	9,377	8,971
有形固定資産合計	1,316,579	1,253,087
投資その他の資産		
関係会社株式	58,533	58,533
敷金	188,137	188,137
差入保証金	31,000	31,000
貸倒引当金	△64,430	△64,430
投資その他の資産合計	213,240	213,240
固定資産合計	1,529,820	1,466,328
資産合計	2,626,881	2,535,810

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年６月30日）	当第１四半期会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	129,163	168,297
短期借入金	683,997	580,000
１年内返済予定の長期借入金	360,000	360,000
未払金	228,264	194,459
未払費用	41,203	40,326
未払法人税等	530	132
前受金	231,222	241,558
預り金	12,821	6,645
契約負債	10,520	9,999
その他	17,981	34,100
流動負債合計	1,715,703	1,635,519
固定負債		
長期借入金	540,000	540,000
資産除去債務	65,528	65,671
固定負債合計	605,528	605,671
負債合計	2,321,232	2,241,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,908	56,908
資本剰余金	868,889	868,889
利益剰余金	△630,563	△641,593
株主資本合計	295,233	284,203
新株予約権	10,416	10,416
純資産合計	305,649	294,619
負債純資産合計	2,626,881	2,535,810

（２）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,211,407	1,216,780
売上原価	674,404	658,570
売上総利益	537,002	558,210
販売費及び一般管理費	619,618	562,268
営業損失（△）	△82,616	△4,058
営業外収益		
受取利息	850	829
営業外収益合計	850	829
営業外費用		
支払利息	2,852	7,550
その他	－	19
営業外費用合計	2,852	7,570
経常損失（△）	△84,618	△10,798
特別利益		
新株予約権戻入益	6,365	－
特別利益合計	6,365	－
税引前四半期純損失（△）	△78,253	△10,798
法人税等	260	230
四半期純損失（△）	△78,513	△11,029

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	169,719千円	213,756千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。